

個人開発における収益化への道のり

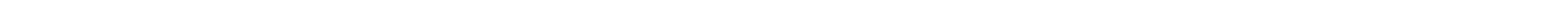
12/14 発表



今日お話しすること

概要

- 今年ずっとアプリ開発に取り組み、やっと収益化できた
 - アイディアから約2年 / 毎日開発を開始して約8ヶ月
- **\$27 MRR** (月間経常収益) → 約4,000円
- 結論：収益化に時間をかけ過ぎた。。
- これまでの道のりを振り返り、収益化までの過程と反省を共有したい



作っているもの：Anicca

課題：主体性の欠如

We are Bound by our lack of agency.

- いつまで経っても習慣を形成できない
 - 全てが3日坊主に
 - 依存をやめられない
 - 理想の自分になれない
-

対象ユーザー

従来のアプリでは続かない人

- 何を続けようとしても、継続できない状態が何年も続く
- 自分を信じられず、自己嫌悪に
- 苦しくて仕方ない

なぜ従来のアプリでは不十分？

- 従来のアプリは、ユーザーに**主体性があることが前提**
 - ユーザーが記録・投稿しないといけない
 - 受動的にサポートするのではなく、**能動的にリードする存在が必要**
-

解決策：行動介入音声AI Anicca

機能

- 身につけたい習慣を行いたい時間を設定
- 毎日その時間にAniccaがその行動を促す（アラーム）
- 現在の行動に基づいて、リアルタイムで声掛け
 - フロントカメラ・スクリーン・アクティビティ
- 行動の詳細な可視化・記憶

プラットフォーム

- iOS / Desktop アプリを提供中
 - 有料版：月額1,500円・年間15,000円
-

現在の成果 (12月)

411

全ユーザー

\$27

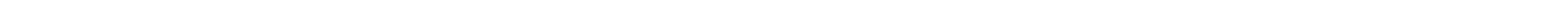
MRR (月間経常収益)

約4,000円

アプリ開発に至った経緯

大学1年

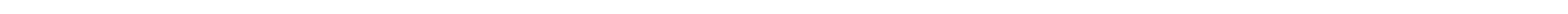
- Peter Thielの「Zero to One」の動画を見て起業に興味
- ゼロから何かを作り出す
- 知り合いと習慣化アプリの開発を開始 → 懈惰で自然消滅
- 習慣化アプリの会社で1年間インターン（みんちゃレ）
 - → 自分はこのアプリでは習慣化できず、



アプリ開発に至った経緯

大学4年

- パブロフ型ニューロフィードバック論文を簡易的な脳波計で再現
- 注意散漫のフィードバックアプリを作成しGitHubで公開
 - 初めての個人開発
- GPT4のおかげで「何かを作る」という経験ができた
- これが自信になり**大学院進学を決意**
- 脳波データを何時間も収集し、モデルを訓練→検出精度がイマイチで挫折



アプリ開発に至った経緯

大学院

- 散漫状態の検出が難しく、モチベーション低下
- ニューロモジュレーションでマインドフルネスを促進 → 技術的問題で挫折

AIではどうか？

開発履歴タイムライン

2024年1月～7月

商用脳波計（Muse2）による注意散漫フィードバック

→ 検出できず + 対象ユーザーが少なすぎる

2024年12月～2025年5月

Webカメラによる注意散漫フィードバック

→ 検出精度が不十分

2025年5月～

画面状態を実況するAI（Google AI Studio）

→ 大西くんのフィードバックで改善

2025年6月～現在

監視AI → 音声AIアシスタント → 介入型音声AI（Anicca）

\$27 MRRまでにやったこと

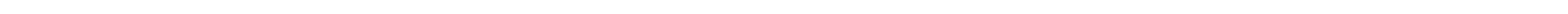
基本戦略

- 家族・友達に使ってもらい、高速改善
 - Aniccaの進捗をSNSに11月から継続投稿
 - X, TikTok, YouTube, Instagram
 - とにかく、フィードバック→改善の高速ループを続けた
-

使ったツール：開発

Cursor一択 (Maxプラン 200ドル)

- Claude Code < Codex CLI < **Cursor**
- Composer1が最高 (早い・賢い)
- 小さめのタスク → Composer1
- 大きめのタスク → GPT5 Highで計画 → Composer1で実装



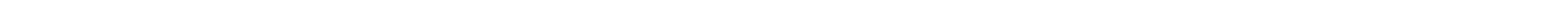
使ったツール：デザイン・マーケティング

デザインツール

- **Mobbin / Figma**: UIデザインの改善
- **Sleek**: App Storeプレビュー画像作成
- **Superwall**: 課金誘導画面（ペイウォール）の改善

マーケティング

- **Buffer**: SNSへの一括投稿ツール
- **VEED**: 動画編集AI
- **SideShift**: インフルエンサーへの依頼ツール、UGCコンテンツ作成



振り返りと反省

1年間考え続けたこと

「人間の行動変容に必要なコンテキストは何で、どう使えばいいか？」

入力: 基本プロファイル / スクリーン情報 / Gmail・Notion (MCP)

出力: 聴覚（声） / 視覚（通知） / 觸覚（振動）

→ 最小限の介入で、最大限の行動変容を実現したい

振り返りと反省

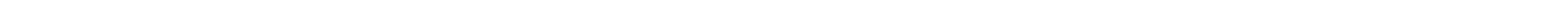
反省点

1. 大西くんのフィードバックを素直に反映し続けたらどうだったか？

- 画面行動を可視化するAI。人間行動の可視化・理解を極めてから、介入でも良かったかも
- 自分のアイディアに籠り続けた反省。もっとユーザーと対話するべきだった

2. 収益化まで時間をかけすぎた

- アイディアから6ヶ月、全体だとほぼ2年
- 顧客と対話して改善を繰り返し、早期の収益化を狙うべきだった



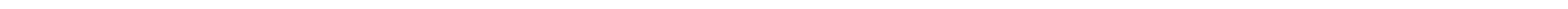
振り返りと反省

反省点（続き）

3. 必要ない機能に時間をかけすぎた

- Webアプリ
- 音声駆動のオンボーディング
- マルチエージェント
- MCP連携

| *Make something people want.*



展望

今月のゴール

MRR \$100 (約15,000円)

やること

- SNSの投稿を続ける
 - 3,000再生の動画を作る
 - 能動性をAniccaに搭載する
-

展望

長期ゴール

10k MRR (月収150万円)

- 起伏あれど、これ1本で生きていけそう
 - ユーザーからのフィードバックの反映を最優先
 - Aniccaに「人間行動」を根本的に理解させる
-

Q&A

質疑応答

ご質問があればどうぞ！

ありがとうございました

Anicca - 行動変容のための音声AI

- iOS / Desktop で利用可能
 - 月額1,500円 / 年間15,000円
-